

◆自然科学研究科 生命科学専攻 博士前期課程 カリキュラムマップ

教育研究上の目的

生命科学専攻は、学部教育で修得した生物を構成する分子・細胞、生物個体の構造・機能・相互作用などについての基礎的な知識の理解の上に、生命科学分野の高度な専門知識及び研究方法を幅広く身につけ、広い視野を持って自らの専門分野の研究に取り組み、成果を上げられる人材を養成する。

ディプロマ・ポリシー

(知識・技能)

- 1 生命科学分野の基礎的な知識と研究手法を身につけ、学会等で発表可能な研究成果をあげることができる。
- 2 幅広い課題に対して生命科学分野の専門家として立ち向かう知識と能力を有している。
- 3 研究者もしくは高度専門職業人として活動するために必要とされる、生命科学分野の高度な知識と技能を修得した上で、自らの論理的思考・演繹力や価値の創造力をもって、それらを総合的に活用することができる。

(思考・判断・表現)

- 4 グローバルな学術情報の収集に欠かせない英語能力を有し、国際的な視野に立って自ら考え、発信することができる。
- 5 周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりながら問題解決のための高度な「考動力」を発揮して社会に貢献することができる。

(関心・意欲・態度)

- 6 自らの学びに責任を持ち、問題発見力と解決力をもって、未解決の課題に主体的に取り組むことができる。

分野系列コード(名称)	科目名 1 (正式)	単位	知識・技能			思考・判断・表現		関心・意欲・態度
			1	2	3	4	5	6
【必修科目】	修士論文	0			◎	◎		◎
	生命科学特別演習 I	4			◎	◎		◎
	生命科学特別研究 I	12	◎	○	○	◎	○	◎
[自専攻設置科目]	分子細胞生物学特論 I	2		◎		◎		◎
	分子細胞生物学特論 II	2		◎		◎		◎
	分子細胞生物学特論 III	2		◎		◎		◎
	分子細胞生物学特論 IV	2		◎		◎		◎
	分子細胞生物学特論 V	2		◎		◎		◎
	統合生命科学特論 I	2		◎		◎		◎
	統合生命科学特論 II	2		◎		◎		◎
	統合生命科学特論 III	2		◎		◎		◎
	統合生命科学特論 IV	2		◎		◎		◎
	統合生命科学特論 V	2		◎		◎		◎
	統合生命科学特論 VI	2		◎		◎		◎
	応用生物学特論 I	2		◎		◎		◎
	応用生物学特論 II	2		◎		◎		◎
	生命科学先端研究技術演習 I	2		◎			◎	◎
	生命科学先端研究技術演習 II	2		◎			◎	◎